

リビエラライフのためのマガジン

RIVIERA

MAGAZINE

Spring 2020

No.10



新たなことを始める季節

株式会社リビエラホールディングス
代表取締役会長兼社長 渡邊 昇



味わい尽くすことは、宿泊滞在ならではの醍醐味。マリブホテルの開業で、リビエラ逗子マリーナはいよいよ「滞在型マリーナリゾート」の機能を備えることとなりました。このマリーナの運営を引き継いだ22年前から、念願としてきたことです。

画期的な2つの「日本初」

マリブホテルには、米国西海岸で一番人気のオーガニックレストラン「マリブファーム」の日本第1号店も併設。L.A.セレクトの絶大な支持を集める身体に優しい美食を、現地マリブビーチを彷彿とさせるこの場所でご堪能いただけます。

またマリブホテルは、太陽光パネルと電気自動車を活用した「ワークプレイスチャージング」と「V2B」を導入した日本初のホテルです。常時のエコロジーと非常時の災害対応を同時にかなえる先鋭的な技術であり、まさに新たな一歩にふさわしい取り組み。

ラグジュアリーとエコロジーは、対極にある概念ではありません。上質だからこそそのサステイナブル。それは、サントロペやポルトフィーノといった地中海沿岸にある古くからの高級リゾートを訪れたとき、深く感じ入ったことです。華麗なハコモノ

があるだけではなく、豊かな食や文化、地域とのつながり、そして何より美しい海があり、それが何世代にもわたって持続している。一歩足を踏み入れれば「これこそが Resort (＝何度も通う場所)」と感ぜられるマリーナリゾートを、お客様とともに創り上げ、末永く磨き上げていきたいと願っています。

リビエラらしさそれは「チャレンジ」

新たな一歩——といえば、リビエラシーボニアマリーナで進む帆船「シナーラ」の復元プロジェクトも、陸上工程の最終局面を迎えています。レストアとは「船の式年遷宮」。

次の100年の命を吹き込む作業です。企業理念「大自然と共に豊かに生きる」が凝縮した「リビエラ未来創りプロジェクト」の一環ですが、設計図もない暗中模索の挑戦。常にチャレンジヤーであることが、リビエラらしきということでしょう。

2月の「ジェネシス・インビテーション」の際、タイガー・ウッズ氏と語りました。44歳になった昨年、PGAツアー勝利に返り咲いた彼もまた、並みの選手の10倍は努力するチャレンジヤーです。あの天才にして、その姿勢。触発されました。



発行
株式会社リビエラホールディングス
編集・制作
リビエラマガジン編集部

〒107-0062
東京都港区南青山3-3-3
リビエラ南青山ビル
TEL. 03-5474-8120 (代表)
www.riviera.co.jp

広告のお問い合わせ先
リビエラマガジン編集部
TEL. 03-5474-8120 (代表)

PHOTOGRAPHER
宮本 卓 (表紙、P5、7、8、9、10、11、12)
矢部 洋一 (P14)

WRITER
丸山 けんおう (P2、4、5、6、7、8、9、10、11、12、14、15、16、22、23)
飯島 圭子 (P13、17、18、19、20、21、24、25)

※本誌に掲載している情報、日程、営業日、営業時間、料金などは予告なく変更される場合がございます。最新情報は各ページに記載されています。webサイトをご覧ください。

FEATURES

4 RIVIERA INTERVIEW VOL.9

プロゴルファー

丸山茂樹さん

SPECIAL ISSUE

8 フラッグシップ RCC 便り SPECIAL

“招待試合”になって開催!!
ジェネシス・インビテーション

REGULARS

2 新たなことを始める季節

株式会社リビエラホールディングス
代表取締役会長兼社長 渡邊 昇

14 The Cynara Project

伊集院 静さんが語る「シナーラ」のレストア

16 白雲閣メモリーズ②

立教大学は創業以来の隣人であり、コミュニティの先輩

立教大学総長 郭 洋春さん

17 リビエラで集う

リビエラ東京

新しいスタイルで交流を創出する PARTY REPORT

18 RIVIERA ZUSHI MARINA PROJECT

新しい扉を開く

2020.3.26 マリーナリゾート リビエラ逗子マリーナに

「MALIBU HOTEL」誕生

22 リビエラ未来創りプロジェクト 第7回

ペットが幸せな未来なら、人間もきっと幸せ

「第3回逗子マリーナペットフェスタ」レポート

TOPICS

13 RIVIERA SPORTS CLUB

24 RESORT CLUB LIFE

25 LIFE STYLE

26 YACHT RACE & EVENT REPORT

27 EVENT REPORT

28 Pick Up



1. 2010年 RCC で開催された「ノーザントラストオープン」に出場
2. 今年の「ジェネシス・インビテーション」でタイガーと久しぶりの再会

丸山 多くの人に支えられていて
先輩たちの足跡が教材になった

丸山 多岐にわたる準備をして臨みました。日英両語に巧みな専属キャディも雇ったし、妻が同行してサポートしてくれました。この他にも、多くの方々の協力がありませんでした。この挑戦は決して僕ひとりだけのものではない。助けてくれたすべての人たちに感謝しています。

RCCは豹変する2つの顔がある

丸山 丸山さんと、RCCのご縁の深さは、リビエラグループの誇りです。丸山 2000年のPGAツアー本格的参戦の当初から、RCCにはお世話になってきました。RCCで練習して、全米各地の試合に出かけ、戻ってきて、また練習する。試合で悔しい思いをいっぱいして、RCCでその解決策を試す。その繰り返し。

ここで研鑽を積み重ね、他のコースで苦しい局面に陥った際にも切り抜

世界の逸材と出会えたジュニア時代

丸山 丸山さんとは個人的にも長年親しくさせてもらっています。ゴルフ人生を振り返って、いちばんの思い出は？

丸山 17歳のときの世界ジュニア選手権初出場でしょうか。あの試合には、アーニー・エルス（南ア）や、フィッシャー・ミケルソン（米国）も一緒に出ていました。あのときは、アーニーが2位で、僕が6位、フィルが8位。渡邊 高校生で世界大会に出たら、後のスーパースターが2人もいた？

丸山 そういふ逸材たちと出会い、競い合えたことは、ジュニア時代の

よい思い出ですね。

丸山 1996年の全英オープンでは、プロ転向直後のタイガー・ウッズと相まみえています。

丸山 タイガーの出現は、衝撃的でした。あの全英は、僕にとっては世界メジャーのデビュー戦。タイガーとは、同じホテルに泊まりました。あの試合では、「帝王」ジャック・ニクラスと同じ組で回ったんです。タイガーを見て、帝王と回って……目がくらむような体験ですね？

丸山 タイガーもPGA3勝。日本が世界に誇る実績です。

丸山 1勝目（2001年の「グレイター・ミルウォaukee・オープン」）は、確かに思い出深い勝利でした。当時22歳のチャールズ・ハウエル3世とのプレーオフ。これを決めたら、青木功さんの日本人選手初勝利以来18年振りの優勝。多くの先輩たちがやれなかったことを自分がやるうとしていた。そう思ったら、震えが来しました。

丸山 あの当時の丸山さんは、国内に敵なしでした。

丸山 誤解を恐れずに言うと、国内での戦いには、得るものが少なくなってきたと感じていました。バージョンアップするためには、PGAツアーに飛び込むしかない、と。

丸山 でも、それには犠牲も伴うわけですよね？ 言葉の壁だってあったでしょう？

丸山 丸山さん、不安はありました。優れた先輩たちが挑戦して、敗れたPGAの壁は高く厚い。だから、俺もどうせダメだ。そう思うタイミングもたくさんありました。

丸山 それでも諦めなかったのは、行くことに意味があったから。

丸山 パイオニアワークには、実行するだけでも意味があります。

丸山 先輩たちの背中を追った僕には、後から行った者ならではの「強み」もありました。それは先輩たちの失敗に学ぶこと。先輩たちの戦績を細かく分析することで、自分に不足しているものを把握することができました。

丸山 クレバーなゴルフは、丸山さんの持ち味です。



RIVIERA INTERVIEW VOL.9

プロゴルファー
丸山茂樹さん
MARUYAMA SHIGEKI

うまくなりた、プロになりたい。
その「夢」はずっと変わらない。

「マルちゃん」のニックネームで親しまれ、多くの人々に愛される丸山茂樹選手。幅広い人気と世界に通じる実力で日本ゴルフ界を牽引してきた丸山さんは、50歳を迎えた今、「フェアウェイの外」でもゴルフ界に貢献する活動にも精力的に取り組まれています。それは、「プレーの魅力をわかりやすく伝えること」「後進を育てること」。「ジェネシス・インビテーション」開催中のザ・リビエラカントリークラブ(RCC)で、丸山選手と旧友のリビエラグループ代表・渡邊昇がお話を伺いました。

Profile

丸山茂樹
MARUYAMA SHIGEKI

1969年千葉県出身。日本大学で活躍、アマ37冠で92年にプロ入り。マルちゃんのお父様で生まれ、日本ツアーでは通算10勝、2000年からPGAツアーに本格参戦し、通算3勝をあげる。2002年には伊沢利光プロとのコンビで、EMCゴルフワールドカップを制している。現在は、ゴルフ中継の解説者をはじめ、様々なメディアにて活躍する傍ら、一般財団法人丸山茂樹ジュニアファンデーションの代表理事として、ジュニアゴルファーの育成にも力を入れている。2016年リオデジャネイロ五輪では、ゴルフ日本代表ヘッドコーチを務め、2020年東京五輪でもヘッドコーチを務める。セガサミーホールディングス所属



2013年「第4回丸山茂樹ジュニアファンデーションゴルフ大会」レッスン会の様子

丸山 会場になる霞ヶ関CCを下見した限りでは、やはりパワーゲームになると思います。勝負を左右するのは、ティーショットでのアドバンテージ。ドライバー巧者たちがせめぎ合う中、その日、パットの調子がいい者が勝つ展開でしょう。その意味で、松山英樹選手には期待大。何と言っても自国開催の地の利もありますから。とはいえ、世界のスーパースターが集結する大会だけに、決して楽観はできません。

丸山 タイガーに「東京で待っているよ」と伝えたら、「ぜひ」と答えてくれました。調子を落としていたころは「タイの代表枠をめざそうか？」

丸山 僕も、未来の人材を育てる活動には関心を持っています。日本ゴルフ協会とも相談しながら、いろいろ模索しています。プロゴルファーをめざすには、お金がかかるというイメージがあるでしょう？ それを覆したい。渡邊 国際レベルの競技に出るようなジュニア選手だと、渡航費用だけでも親御さんの負担は相当なもの。丸山 現在活躍中のトップ選手の多くが、10代半ばからアマ競技で頭角を表し、プロになっています。といって、いわゆる富裕層の子女はほぼいません。親御さんたちは大変な思いをしながら、才能あるわが子をサポートしているのが実情です。渡邊 公的支援もないわけではないものの、周辺各国に比べても、日本は遅れているといわざるをえません。

丸山 加齢によって可動域が狭くなってきているからこそ、このトレーニングが効きます。体が自然と覚えるまで、最低週2回は練習を続けてください。リビエラスポーツクラブでは、この様なコンディショニングのプログラムもあるそうです。とても素

丸山 企業や団体、篤志家によるファンドの力が求められています。渡邊 ゴルフに限らず、スポーツはみんなが共有できる「夢」。その振興に、リビエラも微力を尽くします。「練習」と「夢」は続けることが大事



リビエラグループ代表・渡邊興と談笑



晴らしいですね。渡邊 最後に、「座右の銘」は？ 丸山 そんなのは特になければ、好きな言葉は「夢」ですね。うまくなりたい、プロになりたい。その夢だけはずっと持ち続けてきたし、50歳になった今も変わらない。渡邊 夢はすべての原動力ですね。ありがとうございます。

「パワーとスピード」だけでは大味だ

丸山 RCCというコースは、試合となると豹変するんです。僕はふだんのRCCに馴染みすぎて、この豹変に戸惑ってしまうのです。試合のときのRCCは、まるで異なる顔を見せてくる。なんとしてもRCCで勝ちたいのに、ここで本戦を戦える機会は年に一度だけ。こんなに練習させてもらっているのに、こんなに苦労させられるコースはないと思いますね。(笑)



2005年「全米オープン」



フラッグシップRCC 便り SPECIAL

“招待試合”になって開催!! ジェネシス・インビテーションナル

2月のロサンゼルスは、今年も熱かった——。ザ・リビエラカントリークラブ(RCC)を舞台とする米国PGAツアー・トーナメント「ジェネシス・インビテーションナル」が、2020年2月13日～16日に開催されました。1926年のRCC開設以来、毎年2月、数々のレジェンドを生んできた伝統の一戦。“招待試合、に格上げされた今期、私たちリビエラグループにとって、誇らしい熱戦が展開されました。

「ジェネシス・インビテーションナル」は、ゴルフ界最高峰のツアー公式戦のひとつ。大会ホストは、あのタイガー・ウッズ。今回から「招待試合」に大会格付が上がって名称変更され、賞金総額も前回は190万ドル上回る930万ドル(約10億円)に出場できるのは、選りすぐりの招待選手120名のみ。

世界のトッププレイヤーによる激闘を制し、今回167万4000ドルの優勝賞金と3年間のシード権を手にしたのは、4年ぶりのPGAツアー勝利となったアダム・スコット(豪)。日本勢では松山英樹が5位タイと健闘しました。

この栄えある大会のために、RCCでは、全スタッフが一年をかけてベストなコースコンディションを保ちます。またコース管理技術の研鑽を目的に、全米そして日本を含む全世界から集った約40名の外部人材もRCCのコースメンテナン스에参加。今年7月の東京オリンピック・ゴルフ競技の会場となる霞ヶ関CCからも人材を受け入れています。

またうれしいニュースを皆様にも共有させていただきます。米ゴルフ誌恒例の米ツアープロへの匿名アンケートで「一番好きなトーナメントコースは？」の質問で1位だったのが、RCCでした。実に5人に1人のプロが「リビエラがもっとも好きだ」と答えていただき、群を抜いていたようです。また別の米ゴルフ誌の「ツアープロが選んだベストコース」でもオーガスタナショナル、ハーバートンについて3位にRCCが入り、米ツアープロに高評価をいただき、大変光栄です。

RCCでは「Lead to 2028」を進行中。2028年開催のロサンゼルス五輪では、RCCは男女ゴルフ競技の会場に予定されています。1932年ロス五輪でも、RCCは馬術競技の会場となりました。オリンピックに直接貢献できる2度目の機会に、リビエラはグループの総力をあげて取り組んでまいります。

©Taku Miyamoto



ようなクラシックコースは僅かだ。クラシックコースでのプレーの経験が少ない若い選手にとって、ここでプレーは普段求められる以上の技術が要求される。

また、RCCは特徴のあるパー3、左右に振り分けられたドッグレグのパー4、そしてバーディーが欲しくなるパー5はなぜかストレートなホールとなっている。このストレートなパー5が曲者で、意外とティーショットに苦しむ選手が多いのも不思議だ。

またコース全体がすり鉢状になっているため、ボールの最高点に達した上空での風の読みがとても難しい。

格別な存在
タイガー・ウッズ

今年からタイガー・ウッズの招待試合となった「ジェネシス・インビターショナル」。92年、弱冠16歳でPGAツアーに挑戦した最初の大会が、このRCCだった。その思い出のコースを自身の招待試合に選んだタイガー。出場選手のほとんどが「タイガー世代」と言われる人たちで、小さい頃テレビでタイガーを観て憧れ、ゴルフを始めた。彼らのタイガーを見る目は熱い。

私も幸運にもデビューのタイガーに立ち会えた。その後96年に全米アマ3連覇しプロ転向。そこからの

翌年マスターズ初優勝までの期間は、まさにスーパースターに上り詰める瞬間だった。スポーツフォトグラファーにとって、このような選手と出会えたことは冥利に尽きる。タイガーのメジャー15勝は全てカメラに収めた。

タイガー招待となった今年を、特別な思いで迎えた。

他のコースでは味わえない感覚

夜明け前、東の空が瑠璃色から東雲色に変わる時、ロサンゼルスから乾いた空は言葉で表せないような見事なグラデーションをみせる。遠くに見えるバームツリーのシル

エットからイーグルスの曲が聞こえてきそうだ。

そして太陽が顔を見せると、コースには影の絨毯が敷きつめられる。シカモアの木が一段と白く輝いた。サンタモニカから吹く風は寒流の海を撫でてくるせい、キリッと締まっている。練習場から聞こえてくるボールの音がコースに木霊する。

言葉に表せられない幸福感が身体を包む。

30年に渡って世界のゴルフコースを旅してきたが、この感覚ほどのコースでも味わえるわけではない。そんな時、空を愉しめる天職をありがたいと思っている。

上から：1. 上空から見たRCC 2. グリーンセンターにバンカーが設けられている6th hole 3. ジャック・ニコラスが称賛した10th hole 4. 夜明け前の姿

RIVIERA DREAM 'N

旅するゴルフ・リゾート



写真/文 宮本卓

様々な大会関係者との間に確かなパートナーシップを築けていることも、リビエラが喜びとするところ。そうしたパートナーのひとり、RCCオフィシャル・フォトグラファターの宮本卓さんが、PGAツアーとRCCに寄せる思いを綴ってくれました。

以下は宮本さんの寄稿です。

RCCとの出会い 世界を巡る旅の始まり

私が初めてRCCを訪れたのは中嶋常幸プロとアメリカPGAツアー挑戦の旅に同行した88年のこと。前年暮、中嶋プロがPGAツアー挑戦を発表した時、私は意を決し一緒に旅をしたいと願い出た。私もその年マスターズをはじめ、いくつかのアメリカの試合を撮影したことで、いつかはアメリカ各地を旅することを夢見ていた。

気難しいと聞いていた中嶋プロだったが、思いの外あっさり「面白い、一緒に行こう」と快諾してくださった。そして88年、初戦となったのが、RCCでの「ニッサンオープン」だった。

ロサンゼルス空港から中嶋プロと同乗した車でゲートに差し掛かり、中嶋プロがPGAツアーバッジを見

せると屈強なセキュリティがウエルカムと迎えてくれた。我々カメラマンは普段正門から入ることは殆どない。どこか別のところに設けられたメディア専用ゲートからの入場が当たり前前で、あのゲートの開いた瞬間、心沸き立つ特別な気持ち味わった。これが世界の名門と言われるコースの雰囲気なのか。とてつもない世界に踏み入ったような気分が襲われた。高台に建つクラブハウスからコース全体を見渡す。サンタモニカの海岸から吹付ける風は、ほんの少し冷たいが、カリフォルニアの青い空の下、幸せな気分が包まれた。

この最初に感じた空気が、その後四半世紀にわたり世界中を旅してきても、「RCCこそが一番だ」という気持ちには変わりにない。あの一瞬が忘れられずロサンゼルスに住んだこともあった、そして渡邊会長に声をかけてもらい、今、RCCのオフィシャル・フォトグラファーになろうとは夢にも思わなかった。

18ホールすべてが メモリアルな構成

ここRCCは、フィラデルフィア出身のジョージ・トーマスが1926年に設計。

トーマスのコース設計の特徴は名物ホールを作る才だった。例えば

RCCの4番ホールは200ヤードを超えるパー3だが、ショートヒットでも1オン可能なルートが右サイドに設けられている。6番のグリーンセンターにバンカーを設けるアイデアや8番ホールの左右に分かれたフェアウェー、ニクラスが世界のベストショートパー4と絶賛した10番ホールなど18ホールどれもがメモリアルな構成になっている。

RCCはユーカリの木でセパレートされているが、幾つかのホールにはRCCの歴史が詰まったシカモアのシンボル・ツリーがある。12番ホールグリーン脇では昔ハンフリー・ボガードが木の所でパーボンを飲んでた。このことからこのシカモアの木は「ボギーの木」としてメンバーに愛された。

この素晴らしいジョージ・トーマスの設計が、時代と共に変えられてきたが、渡邊さんがRCCを手掛けるようになり、オリジナルに戻す努力を重ねられている。設計当初とは自然環境が変わり木も大きく育ち、グリーンへこだわりを徹底し、最新を取り入れながら伝統を守るRCCは、93年の歴史の中で一番素晴らしいコースになっている。

近年PGAツアーの開催コースがTPCスタイルのトーナメントコースが殆どとなってしまい、RCCの



健康を維持することは大人のたしなみ？ 春から始める生活改善レッスン

人生100年時代を豊かに向かえるために、より広範囲な視点から健康を考えることが大切です。リビエラスポーツクラブでは、「ウェルネス」という健康の概念に率先して取り組んでいます。常に体をベストな状態に整えることを目的にしたクラブライフをぜひ体験してみませんか。ゴルフの腕前を向上させたいという方におすすめのゴルフイベントも企画しています。

一流から学ぶスポーツテクニック

リビエラスポーツクラブでは、柴田亜衣氏をはじめ元オリンピック競技選手を講師に招き、日本初となるスペシャルレッスンを企画しました。

日常生活に水泳を取り入れることは、体を鍛えるという大きな目的だけでなく、水のパワーが日々の生活やビジネス上でのストレス発散にも役立ちます。正しい泳ぎのテクニックやトレーニング方法をマスターすることで、その効果はより期待できるものに。

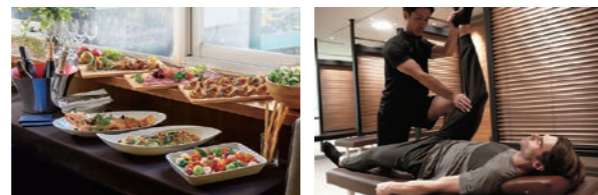
また、日本トップレベルのプロスカッシュ選手を招いたスカッシュレッスンも企画しています。

一回限りの本番で高いパフォーマンスを発揮してきた強靱なメンタルを持つアスリートがあなたを導きます。

ウェルネスの3大「ワークアウト・食・余暇」

世界的に注目されている「ウェルネス(WELLNESS)」は、健康を維持するための総合的な改善を提案するという意味合いを強く持っています。スカッシュやジムで汗を流し、併設のレストランで食事とお酒を味わい、リフレッシュして疲れを癒す。そんな1日が生活の中に習慣づいてくると、心身ともに充足できます。また、リビエラスポーツクラブには、マッサージルームもご用意。国家資格を所有し、プロのアスリートにも帯同する専門のトレーナーによる

スポーツマッサージをはじめ、オイルマッサージなど、その日のコンディションに合わせてチョイスも可能です。「今日はマッサージだけ」「1日クラブにこもりたい」など、メンバー様によって楽しみ方はいろいろですが、共通言語はやはり「健康」です。有意義なコンテンツを取り入れたイベントも多数開催予定ですので、詳しくはリビエラスポーツクラブまで気軽にお問合わせください。



リビエラスポーツクラブ、サ・リビエラリゾートクラブメンバー限定

「内藤雄士セミナー」

高いマインドのプロゴルファーの指導やサポートを手がける、ツアーコーチ兼ゴルフ解説者の内藤雄士氏によるセミナーの開催が決定しました。

【開催日】4月14日(火)

【時間】17:00~

お申し込みはリビエラスポーツクラブまでお問合わせください。



見学・体験のご案内

リビエラスポーツクラブ

TEL.03-5474-8000

東京都港区南青山3-3-3 リビエラ南青山ビルB1F

お電話で「リビエラマガジンを見た」とお伝えください

「ジェネシス・インビテーションル」 タイガー・ウッズ氏の公式コメント(抄訳)

この特別な年に、私はリビエラに帰ってきました。 「ジェネシス・インビテーションル」に選手として出場し、また大会ホストとして皆様をお迎えできることは、とてもエキサイティングな体験です。この大会は今年から、招待試合に格付が上がり、ジャック・ニコラスやアーノルド・パーマーが主催する試合と肩を並べることになりました。

父に伴われて初めてトーナメントを戦った16歳のときから、RCCは私にとって格別な場所。1992年のPGAツアー初参戦もここでした。むろん、そのころは、まさか自分がジャックやアーノルドと同じ招待試合を主催できるなどとは思っていなかったわけですが、これまでのことを振り返ってみれば、これはまさに夢の実現です。

大会スポンサー、米国プロゴルフ協会、そしてすべてのゴルフファンに感謝します。この大会の格付向上は皆様のおかげです。しかし、格付向上以上に重要なのは、皆様のご協力によって、私が主宰するTGR財団による基金が、何万人もの学生たちに教育の機会を提供できたことです。

TGR財団による基金は、地元ロサンゼルスから全米へと足跡を拡大し、さらには世界へと展開しています。ジェネシス・インビテーションルの収益もまた、教育を通じて若者たちが情熱を追求する原資となります。私は、すべての若者たちは、普遍的に教育の機会を与えられ、無限の可能性のある世界に生きるべきだと確信しています。教育こそ夢の源泉。基金が提供する支援は、若者たちにとってきっかけにすぎませんが、あなたの関与が多くの若者を繁栄に導くことは確かです。

私は、ジェネシス・インビテーションルが刻んできた歴史を誇るとともに、この大会がこれからも毎年、成長していくことを期待しています。そして、この大会が皆様にとっても思い出深く、国を越えた多くの学生たちの一助となりますことを。

THE GENESIS INVITATIONALのWeb siteより引用して抄訳
<https://genesisinvitational.com/>



協働と共感

～タイガー・ウッズとの語らい～



このたびの「ジェネシス・インビテーションル」の開催中、RCCのゲストハウスで大会ホストを務めるタイガー・ウッズ氏と、リビエラグループ代表・渡邊昇が交友を深めました。

出合いは、RCCでの鮮烈なデビューを果たしたタイガー・ウッズ16歳の時。ゴルフをこよなく愛する者同士の友人として、いつかはリビエラで一勝をと応援し続けているファンとしていつも語り合ってきました。

「米ツアー82勝を挙げた快挙と今期招待試合」に格上げしたことを、

共に喜ぶことから始まった会談ですが、いつしか話題の中心は、共通の関心事である「社会貢献活動」に。PGAツアーが米国にもたらす経済効果は大きく、慈善活動も活発です。ウッズ氏が主宰するTGR財団の教育支援基金は、ロサンゼルスにおいて年間200万ドルにも達しています。活動に対する彼の思いは、様々なコンディションの時がありながらも、長年ゴルフ界で活躍し続けるタイガーの人物がにじみ出ており、改めて惚れ直しました。

一方、「リビエラ未来創りプロジェ

クト」を進めるリビエラグループは、RCCでも取り組みに力を注いでいます。基金としてのドネーションは1988年に事業継承した当時から継続していますが、サンタモニカにきれいな水を流す「小川プロジェクト」や、エコロジカルな木製設備に入れ替える「木のプロジェクト」などを進めています。

ウッズ氏と渡邊の会談でも、それぞれ一層の取り組みを再確認。タイガーとリビエラの協働と共感、社会貢献の分野でも、さらに深まっています。



時。スケールの大きさとロマンに感動しました」

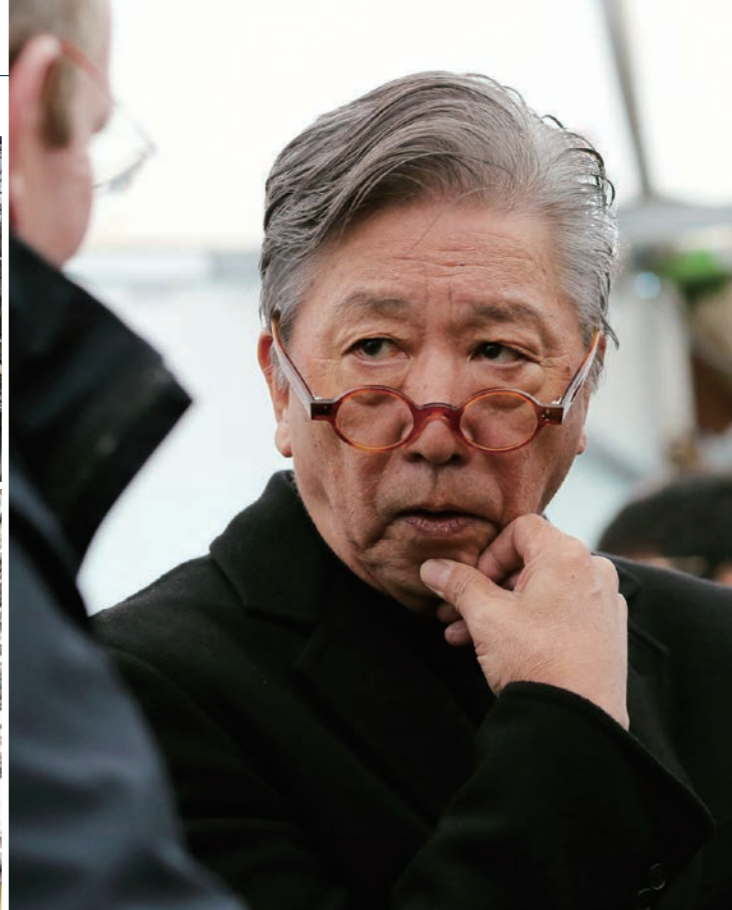
伊集院さんならではの視点でシナラを綴った本——渡邊と約束したものの、『DREAM of RIVIERA』以上の困惑もあったとのこと。

「僕は海辺の街の出身で、幼いころから船を眺めて育ってきました。でもヨットマンではないから、何かを語れるほどの知識はないわけです。実際、上架したシナラを初めて見たときは、この古びた船を甦らせる



Photo by Yoichi Yabe

伊集院 静さんが語る「シナラ」のレストア



CYNARA 1927

神奈川県三浦市のリビエラシーボニアマリナーの特設ドックで復元（レストア）作業が進む木造帆船「シナラ」。

20世紀初頭の英国で当時最高の材料と技術を施し建造され、その華麗な姿から「海の貴婦人」との愛称で称され、世界の名士たちにも愛された名艇が、いよいよ完全復活までのカウントダウンを迎えています。

私たちリビエラグループは、この歴史的帆船を、未来へ伝え遺すべき宝と捉え、まるで式年遷宮を彷彿させるこだわりの極みであるレストア作業を通じ、再生に向けて心血を注いできました。そして、その工程を精密に記録するとともに、この挑戦にまつわる記憶や携わった人々の思いを綴ることを、慧眼で知られ、粹に通じた一人の表現者に託しました。

直木賞作家・伊集院静さん。2017年6月の上棟式から、伊集院さんには、シナラ復元の現場を見守り続けていただいています。

歴史を綴るだけでなく「これから」を語りたい

伊集院さんとリビエラのコラボレーションは、記念出版として上梓した『DREAM of RIVIERA』に遡

それは古きヨーロッパの技術を日本に伝え、再生させるということだけがこのプロジェクトの意義ではないはずだと、今の僕は感じています。

船造りを天職とする彼らにとって、日本に渡ってくることは、生き方にかかわることなのではないか。

世界の海はつながっています。ひとつにつながった海を渡り、人々にとつての普通の宝を次世代へとつなげていく。彼らにこのプロジェクトを託した渡邊さんの思いもその辺りにある。僕はそう睨んでいるんです」

この洞察はさすが。リビエラの企業理念は「大自然と共に心豊かに生きる」。シナラは、理念のすべてを物語る「フラッグシップ」です。

進水のとき、僕らはどんな風景を見るのか

シナラ・プロジェクトも、間もなくクライマックス。

「シナラは日に日に『貴婦人』の美しさを取り戻しつつある。2年半前の、骨だけになった姿を見た身としては、それだけで感動ですが、ここまでの蓄積は『美』という言葉だけでは語れないと思っています。」

6月のお披露目では、大勢の人たちに、それを見てもらえる。その意味はとて大きいでしょう。

この船が海に浮かび、帆に風を受けるとき、僕らはどんな風景を見ることになるのか。楽しみます」

小説家がシナラに注ぐ視線は限りなく優しく、そして熱い——。

伊集院さん御不例の報が飛び込んできたのは、このお話を伺った直後のことでしたが、無事、退院されたとのこと。私たちリビエラは、先生の一日も早い「現場復帰」をお待ちしております、先生に見守られてきたシナラとともに。



シナラの故郷・英国のThe Times紙やDaily Telegraph紙が関心をよせ、記事が掲載されました。欧米メディアの関心の高さに驚きます。

<https://cynara.jp/>

少人数での会食・会議から大人数でのイベント・パーティまで リビエラで集う3つのスタイル

滝が流れ緑あふれる多種多様な空間を整えたりビエラ東京だからこそ、
ビジネスシーンやご家族での集まり、
また、共通の趣味を持つ仲間同士で催すイベントを
より印象的に演出できるスタイルがあります。
ここではケーススタディ別にご紹介します。



**ビールを片手にJAZZをラフに
愉しむ「大人のジャズフェスティバル」**

CASE 1

昨年にリビエラ東京で開催された
ジャズフェスティバルは、音楽を愛する
方たちが集い、夏の夜を存分に満喫し
ただきました。音響や照明設備が整っ
た会場で迫力ある音楽を間近に楽しま
れたり、テラスで耳を傾けながら、ビー
ル片手に談笑に興じたり。自由に往来
できる空間だからこそその活用方法です。

**プライベート感あふれる
個室での食卓**

CASE 2

少人数での接待やお食事会にもサ
ポートできるように、個室も多数ご用
意しております。年に一度、団らんの時
でご利用いただいているご家族は、小
さなお子さま連れでも安心して利用
できるとご満足いただいております。
どんなご要望にも応えてまいります
ので、まずはお気軽にご相談を。



お問い合わせ
リビエラ東京
TEL.03-3981-3233
東京都豊島区西池袋5-9-5



**料亭発祥の料理を立食スタイルで
企業主催の賀詞交歓会**

CASE 3

立食形式での宴席は、大人数様を
迎えるために料理に力を入れること
が難しいというのが業界の常です
が、1950年開業の「白雲閣」時
代より続くおもてなしの心を信条に
するリビエラでは、一つひとつの宴
席ごとに異なる提案を行い、参加さ
れた皆様に大好評でした。

リビエラで集う

MICE
EVENT
REPORT



リビエラ東京
新しいスタイルで交流を創出するPARTY REPORT



立教大学総長 郭 洋春(カク・ヤンチュン)さん



白雲閣メモリーズ②

立教大学は創業以来の 隣人であり、コミュニティの先輩

Interviewee
立教大学総長 郭 洋春さん

学生に機会を与えてくれた
長年のご縁に感謝

池袋二又交番前交差点から山手通
りへと結ぶ約800メートルの区道
「立教通り」。名門大学の名を刻むこ
の通りに面して建つリビエラ東京
は、白雲閣の昔から、お客様にこう
案内してきました。

「立教大学のすぐそばです」と。

もとは築地にあった立教大学が、
今の場所に移転したのは、今年70周
年を迎えた白雲閣開業32年前の19
18(大正7)年。リビエラにとって
立教大学は、地域コミュニティの
先輩であり、創業期からの大切な隣人。
門前を行き交う立教生の皆さんや保
護者の方々も、池袋勤務のリビエラ
社員は、馴染み深い存在といえます。
「池袋という街には、どこか地域全体
が家族のような雰囲気があります。
立教大学は池袋に育てられた大学で
すが、池袋キャンパスには、大学だ
けでなく、一貫連携教育を行う立教
小学校、立教池袋中学校・高等学校
も設置されています。男子校なので、
この「一貫校」の児童生徒こそ、ま
さに生粋の「立教ボーイ」。小学校か
ら通う立教ボーイたちは高校卒業ま
での12年間、池袋の皆さんに見守ら
れて育つわけです。

また本学にはアナウンサーなど放

送業界で大活躍されている人材を
輩出してきた「放送研究会」があり
ます。その現役メンバーによるラジ
オ番組『湘南へ！シングウェイ St.Paul
edition』湘南ビーチFM・第三金曜
16時30分〜は、リビエラ東京内
リビエラカフェグリーンスタイル
からの生放送。放送局の厳しい基準
に則って制作されている「本物の番組
づくりですから、放送界をめざす
学生たちには、実社会に直結した
生きた授業。学生たちが夢に近づく
機会を、リビエラさんが親身になって
提供してくださることに感謝してい
ます。長年のご縁の賜物です」(郭総長)

共に池袋の
ランドマークとして

郭さんご自身も池袋のお生まれ。

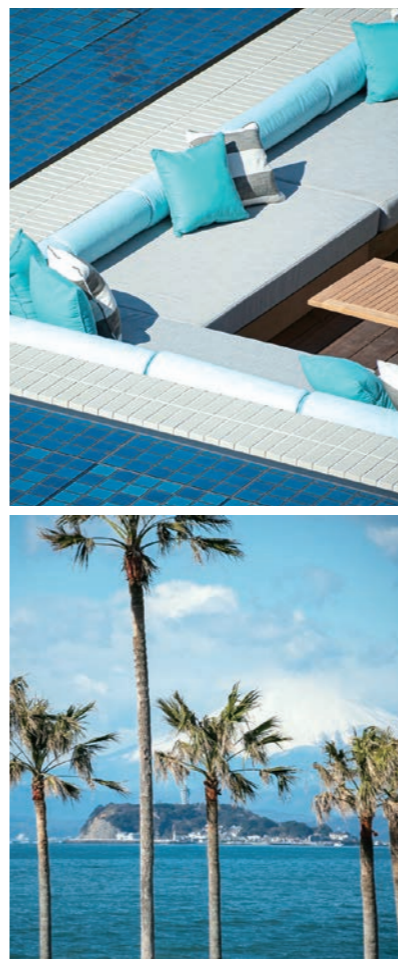
「私が幼いころの白雲閣といえば誰も
が知る一流の宴会場で偉い方々が集
う場所であり、子どもには近寄りが
たい雰囲気。リビエラ東京に名称が
変わったときは、あの名門がなくなっ
てしまったのかと勘違いしてショッ
クを受けたほど。池袋という街に根
差し、軒を並べる立教とリビエラは、
切っても切れない間柄です。今後とも
温かな交流を願います。共に
池袋のランドマークとして」(郭総長)

こちらこそ末永くお願いします！



新しい扉を開く。

2020.3.26
マリーナリゾート リビエラ逗子マリーナに
「MALIBU HOTEL」誕生



自然に溶け込む

このホテルで過ごす目的は自分が自分に選べること。
 東京都心から50分で
 海外の高級リゾート地を
 訪れた時のように、
 ホテルにゆったりと滞在し
 心身のリズムを取り戻す。
 部屋の窓一面に広がる海と
 富士山の眺め。
 自然を味わうことで
 得られる、
 充足という贅沢を。

整える

日常の緊張から解放される
 安らぎの時間

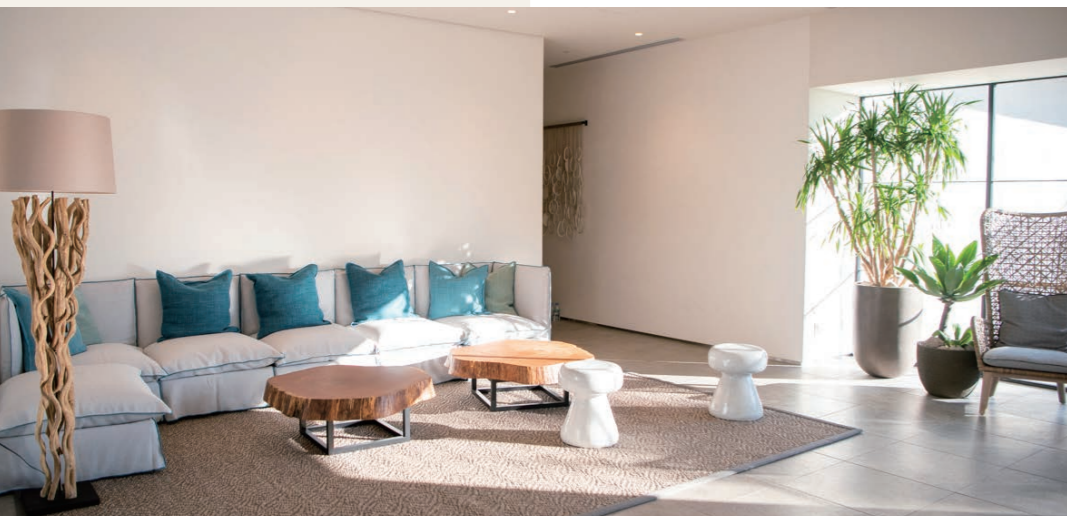
「マリブホテル」を有するリビエラ
 逗子マリナーには、ヨットやクルー
 ザーが停泊するマリナーの他、人が
 集って思い出に残る時間を過ごすバ
 ンケット、テニスコート、レストラ
 ンやカフェなど、さまざまな施設が
 備わっています。

「マリブホテル」では、内面から美
 しく、心を整える時間を提案してい
 ます。美味しく体にも優しいオー
 ガニックが味わえるL.A.セレブに
 大人気レストラン「マリブファーム」
 の日本第一号店がオープン。現地の
 レシピをもとに、地元湘南の新鮮素
 材や相模湾の魚介類を用いた日本限
 定メニューも。

また、アメリカの5つ星ホテルの
 スパでも愛用されているクレイドを
 使用した「クレイドスパ」を海を
 感じながらお部屋でゆっくりとあじ
 わい、心身を解放へと導きます。身体
 の外側からも内側からもアプローチ
 する「クレイドスパと食事の組み合
 わせ」は、日本初の試みです。

究極の贅沢は、マリナーから出航
 して相模湾に停泊するヨットで、
 穏やかな波の揺れに身を委ねながら
 うたた寝をしたり、読書をしたり。
 何もしないという選択が、新たな扉を
 開いてくれることでしょう。

ご予約・お問い合わせ
MALIBU HOTEL
 TEL.0467-23-0077 神奈川県逗子市小坪5-23-16 リビエラ逗子マリナー内



過ごす

海風が通り抜ける
 リビングのソファに
 横たわって本を読み、
 広々としたテラスで
 刻々と表情を変える景色を
 眺めながら
 おしゃべりに興じたり。
 早くに目覚めた朝は、
 おだやかな海から昇る
 朝陽を望みに。
 力強く昇るそのさまに、
 心が動かされます。





インスタ映えばっちり！ ペットと一緒に船を楽しむ同伴クルージングは、リビエラならではの。



開催主旨にご賛同いただいたペット関連各社による展示即売。振出し物も多数。各社のご協力に感謝、感謝です！



ペットと共に過ごはん。レストランテAOの厨房からスペシャルメニューを屋外にお届け。もちろん衛生管理は万全です。



地元で人気のパン屋さん6店舗による「リビエラマルシェ～パンまつり～」も大盛況でした。



神奈川県岩知事×杉本彩さん×なべやかんさんのトークショー。ほろりとさせる感動秘話も。



ペットが幸せな未来なら、人間もきっと幸せ 「第3回逗子マリーナペットフェスタ」レポート

1,500名超のお客様と
2,500頭のペットと

2020年1月19日(日)、「第3回逗子マリーナペットフェスタ」が開催されました。

実はこのフェスタ、本来は、昨年10月12日(土)の開催が予定されていた。しかしながら、各地に大きな被害をもたらした台風19号の発生により中止に。繰延開催に期待する声の高まりに、「何としても年度内に！」との執念にも似たリビエラ担当者の思いが通じてか、みぞれ模様の前日から一転して、開催当日の相模湾は早朝から快晴。1,500名を超えるお客様と、推定2,500頭近く(受付来場者×平均1.5頭が同伴)のワンコ(一部にニャンコ他も)が、リビエラ逗子マリーナに、大集結しました。

ふだんはヨット関係者のみ立入が許される波音が耳に届くほど静かなハーバーエリアに、響きわたるは小型犬のはしゃぎ声。ハンガーに吊り下げられたヨットの船底を見上げて、歓声をあげるお客様がたも。プールサイド特設会場では、穏や

かな潮風のもと、ペットと飼い主が伸び伸びと遊び、ペット愛好家同士が交流し、飼い主を必要とする動物たちと、捨てられた犬猫の里親になろうという志ある人々が新たに会おう——マリーナという場を持つリビエラだからこそできるイベントと捉えています。

重いテーマだからこそ徹底的に楽しく

「逗子マリーナペットフェスタ」は、犬猫の「殺処分ゼロ」の連続達成をめざす神奈川県を取り組みに賛同し、県の動きと連携して地道な活動に努めておられる人々をバックアップする企画としてスタートしたものです。掲げられたテーマは重く、イベントひとつで解決できる課題でもありません。でも、より多くの方々の



杉本彩さん、河村隆一さん、堺正章さん、北原照久さん、波留敏夫さん、宝田明さん、鈴木英人さん……貴重な品々のオークション出品、ありがとうございました。



イラストレーター鈴木英人さんチャリティー制作の「イラスト入りお散歩バック」は、早いもの勝ちで来場者プレゼント!

共感と参加を得るには、この1日のイベントは、徹底的に楽しいものでなければ。だからこそ、参加する人とペットが、心から楽しめるコンテンツを懸命に考えました。「大勢のスターさんたちに参加していただければ……」「ペットと一緒に贅沢なランチを楽しめる……」ってのはどう? 「せっかくならマリーナまで来ていただくのだから、船も楽しんでもらわなければ……」「チャリティーとはいえ「寄付」を呼びかけるのはハードルが高い。チャリソンとワンコインの「募金」なら、お客様たちにも参加してもらえそう……」関係者みんなが絞った知恵と、現場の運営スタッフたちがかいた汗の分だけ、ご来場の皆様笑顔になった——そう確信できた真冬のペットフェスタ。これもリビエラが取り組む「未来創り」です。



リビエラ 未来創りプロジェクト

第7回

リビエラグループでは、「大自然と共に心豊かに生きる」という企業理念のもと、国連サミットで採択されたSDGsにコミットし、様々な活動を通じて豊かな未来創りへの取り組みに力を注いでいます。



やさしい潮風を感じながら 湘南の「今」を楽しむ

リビエラ逗子マリーナで毎月第1日曜日に開催している「リビエラマルシェ」。Bio（体にやさしいこだわり）・Seaside（海に似合う）・Local（地産）をコンセプトに地元湘南の人気店が集うマーケットや季節を感じる体験型のイベントもさまざまに。



潮風を感じる、海沿いのマルシェ

あちこちから楽しげな笑い声が聞こえてくる、穏やかな日曜日。リビエラ逗子マリーナで月に一度開催している「リビエラマルシェ」は、ファミリーやご夫婦、ご友人同士でとさまざまな方が訪れ、欧米の海沿いの街で過ごす週末を思わせるような、のんびりとした時間を満喫していただいています。潮風に椰子並木がやさしくそよぎ、ふんわりと香る海を感じながら、身も心もリラックス。地元湘南の人気店も多く集い、新しい発見にも出会えます。



湘南の人気店から届く季節の便り

「リビエラマルシェ」の楽しみ方は訪れる方によってさまざまですが、初めて訪れるならまずは一番の賑わいをみせるマーケットエリアへ。湘南野菜やパンなど、毎月異なるテーマに合わせて出店される地元の人気店が軒を並べ、体にやさしいこだわりの品を手に入れることができます。生産者や店の方との会話から、湘南での豊かな暮らしや過ごし方の秘訣をお持ち帰りいただくことも。



体験・参加型イベントも目白押し

例えばハロウィンの時期のマルシェではリビエラ逗子マリーナ一帯を仮装してパレードしたり、12月にはサンタクロースが登場したり。一年の始まりとともに開催した1月は、書き初めや餅つきを行うなど、季節を体感するイベントも目白押しです。また、手作り体験ができるワークショップでは、今話題のビーチアートやアクセサリにも挑戦でき、自分だけのオリジナルを作ることができますと大人気です。

4月以降も趣向を凝らしたプログラムを実施予定ですので、楽しみにお待ちください。

注目イベント

リビエラマルシェ ～パンまつり～ 「こどもの日」企画

地元湘南で大人気のパン屋さんがリビエラ逗子マリーナに集結します。こどもの日にちなんだ企画も満載。ゴールデンウィークはリビエラマルシェでお楽しみください。

【開催場所】リビエラ逗子マリーナ
【開催日時】5月3日(祝・日) 11:00~15:00
【入場料】無料
※今後のスケジュール:6/7(日)・7/5(日)

お問い合わせ

リビエラ逗子マリーナ
TEL.0467-23-0028 神奈川県逗子市小坪5-23-16

今日はボート？ それともヨット？ 海で過ごす、大人の休日

今度のお休みは、海へと繰り出してプライベートなひと時を楽しんでみませんか。おひとりゆっくりと、ご家族で和やかに。お仲間とわいわい、大切なお客様の接待にも。ここでは充実した休日の過ごし方をご提案します。



過ごし方1：仲間と船上パーティ

ザ・リビエラリゾートクラブでは、約14艇のヨットやボートを所有しており、会員様はその日の気分と一緒に休日を過ごされるご家族やお仲間などの顔ぶれによって選ぶことができます。

気の合う仲間が集まり、わいわいと楽しみたいという方におすすめなのが、ヨットでの船上パーティです。デッキが広くとられたヨットを選んで、ぼかぼかとした陽ざしを浴びながらお酒を交わし合う時間は格別です。日常の煩わしさから逃れて、心ゆくまで会話を弾ませることも。陽ざしに疲れたら、船内のリビングやベッドルームでお休みになったり、ゆったり読書するのもおすすめです。



過ごし方2：釣りにチャレンジ

ご家族で休日を過ごされるなら、ボートを選んで海釣りに挑戦してみるのも一興です。「我こそ釣り名人!」という会員様なら、年に2回開催している釣りの競技会にもぜひご参加ください。この競技会は、釣れた数を競うものではなく、カワハギ、キスなど対象となる魚の種類が決まっています。その大きさや数でランキングが決まります。お子さまが参加して優勝することもあるので、ご家族で挑戦するのもいい思い出になります。



過ごし方3：スピードを楽しむ

「海を極めたい」という会員様にチャレンジしていただきたいのがヨットレースです。スピードを楽しめる船を選んで海上へ！勝負を競うだけでなく、操舵のテクニックも普段とはまったく違い、気の抜けないスポーツ感覚がクセになります。リビエラのクルーと一緒に参戦もできますし、レース当日に向けてお仲間と一緒に練習を重ねて、ヨットを降りたらBBQを楽しみながらじっくりと反省会を開くのもおすすめです。



ヨットレーススケジュール

4月12日(日) Shonan Race 上下コース2レース(秋谷沖)
5月10日(日) Shonan Race 秋谷沖スタート→城ヶ島沖マーク往復
5月17日(日) キスマスター2020
6月14日(日) Shonan Race 上下コース2レース(秋谷沖)

体験会のお誘い

ザ・リビエラリゾートクラブ
TEL.0467-23-2458
神奈川県逗子市小坪5-23-9
お電話で「リビエラマガジンを見た」とお伝えください。

「リビエラ シェフズナイト2020 イタリアン×石井ナイト」
in リストランテAO 逗子マリーナ



2019年リビエラを代表するシェフの味わいをお客様に楽しんで欲しいという願いから実現した「リビエラ シェフズナイト」。技のこだわりを尽くした饗宴に、全日満席と好評をいただき、2020年も開催するはこびとなりました。第1弾は「リストランテAO 青山」メインシェフの石井大輔が、1月25日(土)に姉妹店のリストランテAO 逗子マリーナにて、腕を振りました。湘南の新鮮野菜を存分に活かした前菜や、「葉山牛指定飲食店」20店でしか堪能出来ない葉山牛と牛蒡を活かしたパスタなど、海の恵みと冬の味覚を使用した特別コース(全6品)を眺めの良いお席で存分にお楽しみいただきました。次回は5月28日(木)に、開催予定です。

「リビエラ ファミリーデー」
in リビエラ逗子マリーナ



リビエラグループで挙式・パーティをされた方を対象にした「リビエラ ファミリーデー」が、2月2日(日)リビエラ逗子マリーナにて開催されました。このイベントには、300名近いお客様にお越しいただき、逗子マリーナだからこそ体験出来る「相模湾ショートクルージング」をはじめ、「ブライズメイク体験」、「チョコレート デコレート体験」、「ドライフラワーづくり」など、職業体験しながら、お子さまと一緒に楽しみいただきました。またシーサイド チャペルで行われた聖歌隊によるコンサートでは、挙式当日を振り返り感動される方も。次回は、今年の夏に「リビエラ東京」での開催を予定しております。

「令和初 ニューイヤーフェスティバル2020」
in リビエラ逗子マリーナ



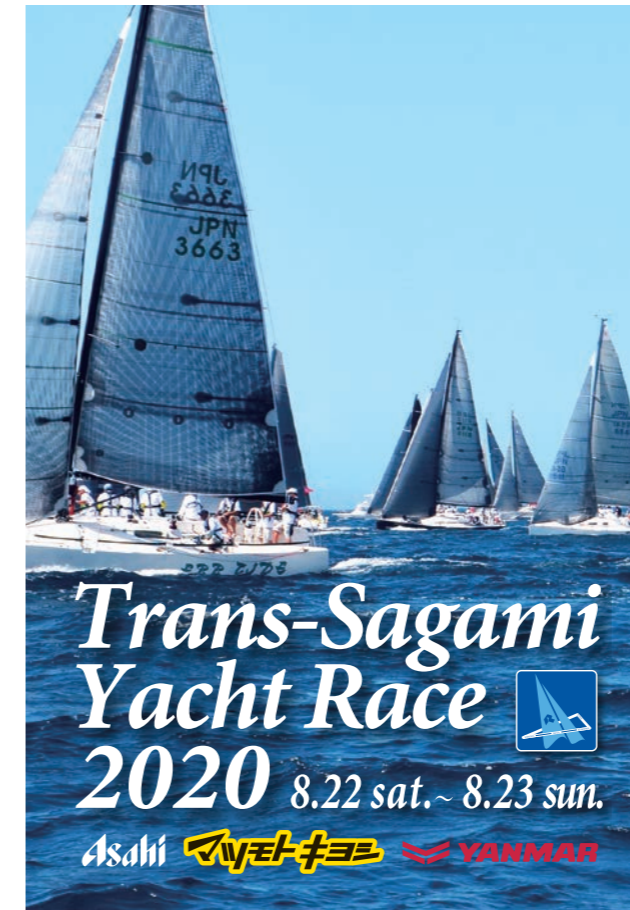
毎年恒例のリビエラ逗子マリーナ「お正月イベント」が、元旦から3日まで開催され、お正月をリビエラ逗子マリーナで過ごされる多くの来場者で賑わいました。今年も天候に恵まれ、快晴の中、マリーナからは「初日の出クルーズ」と「初詣クルーズ」が出航し、船上から美しい富士山や江の島を眺めながら「初日の出」や「森戸神社」を拝み優雅な時間をご堪能いただきました。また、日本の伝統的なお正月をお楽しみいただく「書き初め」「射的」「わなげ」「たこづくり」の体験コーナーや、恒例の「餅つき」では、お子様をはじめご家族で楽しめる姿が大変印象的で、三が日をご満喫いただきました。

「クリスマスイベント2019」
in リビエラ東京



料亭「白雲閣」から開業70周年を迎えるリビエラ東京にて、クリスマスイベントが開催され、連日多くのお客様で賑わいました。レストラン「茶寮 リビエラの庭」では、限定の特別ランチをモダンスタイルをご用意。産地にこだわって仕入れた魚介類や、自社菜園で育てた野菜の他、ご飯は銘柄にもこだわり土鍋で炊き上げました。また「チャペルコンサート&クリスマスディナー」では、聖歌隊の美しい歌声と共に、リビエラ総料理長 岡野信司がお届けする全5品のスペシャルコースを。サーモンとつぶ貝のパイ包みをはじめ、特選牛ヒレ肉のローストが用意され、大切な方と素敵な聖夜をお過ごしいただきました。

毎年恒例のレースが今年も開催
2020年 注目のヨットレース情報



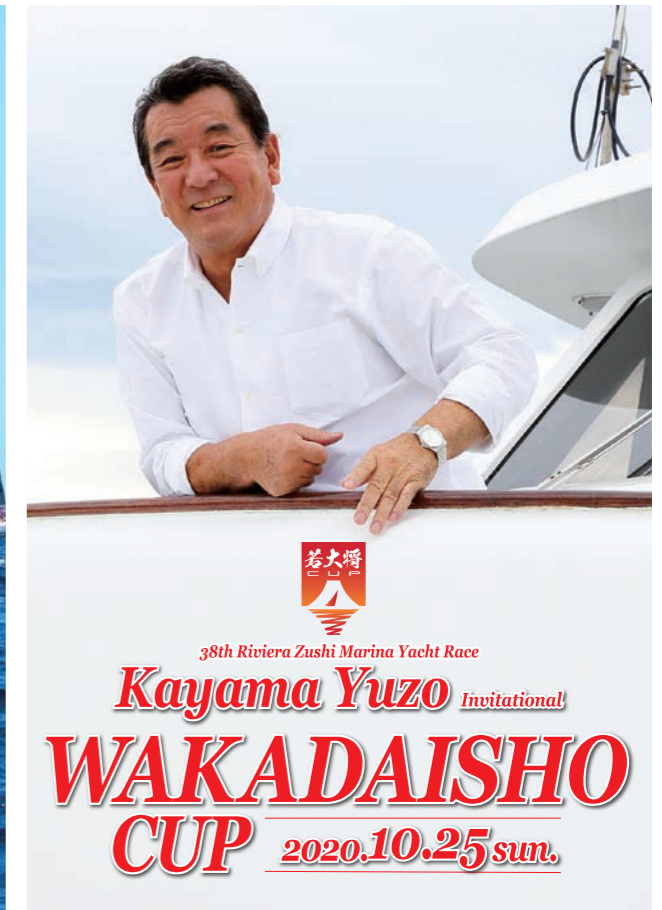
Trans-Sagami Yacht Race

夏の恒例、下田から三浦まで相模湾を満喫するヨットレースが、今年も開催されます。
第15回静岡県知事杯石廊崎レース 8月22日(土)、
Trans-Sagami Yacht Race 8月23日(日)予定です。

詳細は、決定次第オフィシャルホームページで公開いたします。
どうぞお楽しみに。

お問い合わせ

リビエラリゾート ヨットレース事務局
TEL.046-882-1286
〒238-0225 神奈川県三浦市三崎町小網代1286
yachtrace@riviera.co.jp
<https://www.riviera.co.jp/marina/event/>



リビエラ逗子マリーナヨットレース
加山雄三 invitational 「若大将カップ」

今年で38回目を迎える、若大将こと加山雄三さんと一緒に楽しむ人気ヨットレースが、10月25日(日)に開催予定です。レース初心者から本格レーサーまで楽しめる、多くの参加艇が集まるオープンレース。

※同日、加山雄三さんも参加する「若大将ビーチクリーン」も開催予定です

キスマスター 2020

毎年恒例の「キスマスター 2020」を5月17日(日)に開催します。この大会は「ポートフィッシング史上最強の小物釣り大会」というサブタイトル通り、キス4匹の全長を競う大会です。参加全チームに賞品が用意されているのも特徴です。奮ってご参加ください。



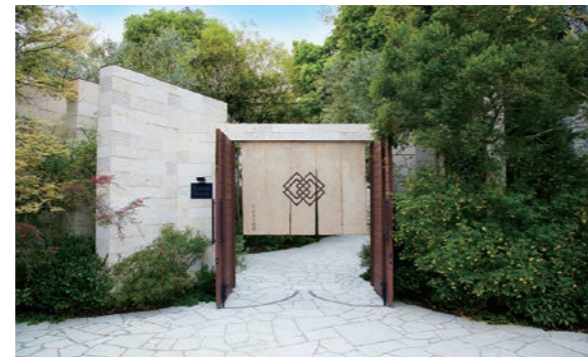


リストラテAO 青山

熊本県の牧場から直送される
人気の「あか牛」をイタリアンで堪能する

柔らかい赤身肉にほどよい脂肪分が特徴の「あか牛」を、スペシャルに楽しめます。ランチ・ディナー共にドリンク付きのプランで、GWをお愉しみください。

【期間】4/29(祝・水)~5/6(祝・水)
【時間】ランチ/11:30~15:30(14:00 L.O.)
ディナー/17:30~22:30(20:30 L.O.)
【金額】1.ランチ/あか牛ランチ+
1ドリンク付き/5,000円(税別)
2.ディナー/あか牛3部位食べ比べコース+
1ドリンク付き/10,000円(税・サービス料別) **ご予約・お問い合わせ**
3.ディナー/あか牛3部位食べ比べプレート+ **リストラテAO 青山**
ペアリングドリンク/7,000円(税・サービス料別) TEL.03-5411-6660



茶寮 リビエラの庭

春を彩る「モダン和食の会席コース」

季節を感じられる眺めの良い席で、旬の食材を存分にご堪能いただく会席コースです。料亭『白雲閣』から受け継いだ伝統の味わいをお愉しみください。

【期間】4/1(水)~ **お問合わせ**
【時間】11:30~15:00(13:00 L.O.) **茶寮 リビエラの庭**
【金額】6,000円(税別) TEL.03-3981-3245



リストラテAO 逗子マリーナ

「CAPTAIN'S BAR」グランドオープン

「MALIBU HOTEL」グランドオープンを機に、リビエラ逗子マリーナの歴史を見守り続けてきたバーが、「CAPTAIN'S BAR」として生まれ変わりました。海を愛する人たちが集う新空間で、大人の語らいのひとときをお過ごしください。ボトルキープもいたします。

【期 間】3/26(木)~ **ご予約・お問合わせ**
【時 間】16:30~20:00(L.O) 21:30 close **リストラテAO 逗子マリーナ**
【金 額】ドリンク/650円~ **TEL.0467-25-0480**
フード・アラカルト/850円~
(税・サービス料別)



リビエラ逗子マリーナ

SALON CONCERT CLASSICA BY THE SEA
「奥深き室内楽の森を進む〜小森谷巧と仲間たち」

コンサートホールとは一味違う、海を見ながらの贅沢な空間で、上質なクラシック音楽をお楽しみいただけます。優雅なひと時をお過ごしください。

【開催日】6/20(土) **ご予約・お問合わせ**
【時 間】開場/16:00 開演/17:00 **アフターコンサートディナー/19:00**
【金 額】コンサート/6,600円(税込) **【コンサート】湘南ビーチFM**
(グラスシャンパン付き・全席指定) TEL.046-870-3336
アフターコンサートディナー/6,000円(税込) **【ディナー】リビエラ逗子マリーナ**
(ビュッフェ料理・ソフトドリンクフリー) TEL.0467-23-0028



リビエラカフェ グリーンスタイル

「いつもありがとう」の気持ちを伝えるプラン
HAPPY MOTHER'S Day

普段はなかなか素直に伝えられない気持ちを「ランチ」や「アフタヌーンティ」のプレゼントで伝えてみてはいかがでしょうか？カーネーションの他、母の日にぴったりな特典付きです。

【期間】4/13(月)~5/30(土) **ご予約・お問合わせ**
【時間】ランチ/11:00~13:00(L.O.) **リビエラカフェ**
アフタヌーンティ/14:30~16:30(L.O.) **グリーンスタイル**
【金額】ランチ/2,800円(税別) **TEL.03-3981-3264**
アフタヌーンティ/4,000円(税別)
※カーネーションの花1輪、記念撮影、
メッセージ付きスイーツ



リビエラ東京

リビエラ ランチタイムコンサート

プロを目指す若き音楽家に披露するステージと、まだクラシックコンサートに馴染みのないお客様に気軽にコンサートを楽しんでいただける場所を提供し、豊島区の後援で、開催しております。

【開催日】4/14(火)・5/19(火)・6/16(火) **ご予約・お問合わせ**
【時 間】受付/10:30 コンサート/11:00~11:40 **リビエラ東京**
【金 額】コンサートのみ 600円(税込) コンサート+ランチ 2,700円(税込) **TEL.03-3981-3233**
※コンサート会場内は自由席です。
【お食事】松花堂弁当/茶寮 リビエラの庭
グリーン野菜プレート/リビエラカフェ グリーンスタイル
*お好みのランチをご予約ください。



リビエラリゾート不動産

逗子マリーナ マンション物件のご紹介
富士山・江ノ島を望む 1号棟 6階

上記写真はお部屋からの眺望写真です

お客様のライフスタイルに合わせた管理やメンテナンスはもちろんのこと、緊急時に対応できるよう、専門のスタッフがサポートいたします。

【物件概要】逗子マリーナ1号棟6階 販売価格 6,500万円
*2014年7月フルリフォーム済
●専有面積/89.77㎡ ●バルコニー/8.34㎡ ●管理費/月額27,090円
●修繕積立金/月額7,900円 ●建築年月/昭和51年5月 ●間取り/1LDK
●取引態様/仲介 *そのほか、ご購入には別途購入諸経費がございます。
(印紙代、登記料、精算金、仲介手数料等) **ご予約・お問合わせ**
【営業時間】9:00~17:00 **リビエラリゾート不動産**
*ご内覧について、事前ご予約受付中 **TEL.0467-23-5615**



シーボニア クラブハウスレストラン

水平線と富士山ビューの特等席で
旬の食材が織りなす「初夏特別コース」

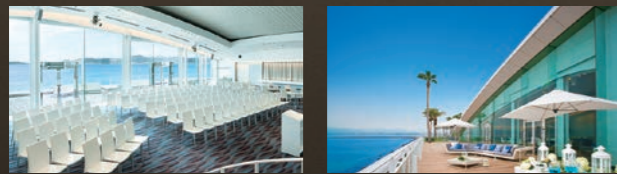
初夏と地産地消を五感で楽しむことをコンセプトに、相模湾で採れた旬の鮮魚を贅沢に使用した期間限定コースです。小網代の森の初夏の散策と共に、お愉しみください。

【期間】5/15(金)~6/28(日) **ご予約・お問合わせ**
*ご注文は4日前迄の事前予約になります。
【時間】ランチ/11:30~14:30(14:00 L.O.) **シーボニア**
土日・祝日・ディナー/17:00~20:00(19:00 L.O.) **クラブハウスレストラン**
【金額】シェフお勧めコース/6,000円(税別) 5品 **TEL.046-882-1216**
季節コース/4,000円(税別) 4品

逗子

大塚商会 presents SHONAN JAZZ BY THE SEA LIVE

SHONAN
JAZZ
 BY THE SEA
 LIVE



土曜夜開催のオーシャンジャズライブ



4/4(土)
渡辺裕之トリオ

渡辺裕之(dr) / グレース・マーヤ(vo/pf) /
 安力川大樹(b)
 3/16(月)10:00発売
 MUSIC CHARGE ¥5,500



5/2(土)
MALTA Hit&Run

MALTA(sa) / 布川俊樹(gt) / 福田重男(pf) /
 安藤正則(ds) / 吉田豊(cb)
 4/6(月)10:00発売 MUSIC CHARGE ¥5,500



6/6(土)
大西順子トリオ

大西順子(pf) / 井上陽介(b) / 吉良創太(ds)
 5/7(木)10:00発売 MUSIC CHARGE ¥6,000

受付・FOOD & BAR / 17:00 開場 / 17:15
 開演 / 18:00 1st.18:00-18:45 2nd.19:15-20:00
 場所 / リビエラ逗子マリーナ 神奈川県逗子市小坪5-23-16

湘南ビーチFM
046-870-3313
<http://www.beachfm.co.jp>

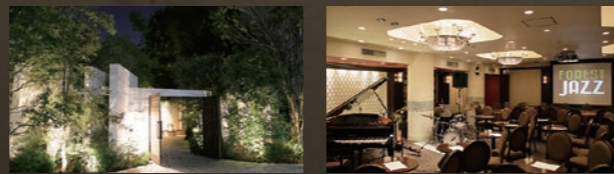
※最新情報はホームページにてご確認ください

駐車場4時間無料サービス

池袋

YANMAR presents FOREST JAZZ in RIVIERA TOKYO

FOREST
JAZZ
 in RIVIERA TOKYO



都会の森で酔いしれるジャズライブ



5/22(金)
Ai Kuwabara the Project
 桑原あい(pf) / 鳥越啓介(b) / 千住宗臣(ds)
 4/1(水)10:00発売
 MUSIC CHARGE 前売¥6,000 当日¥6,500円



7/17(金)
山中千尋
 山中千尋(pf) etc
 5/1(金)10:00発売
 MUSIC CHARGE 前売¥7,500 当日¥8,000



9/18(金)
Harvey Thompson with 田中裕士 Trio
 Harvey Thompson(vo) / 田中裕士(pf) /
 Brent Nussey(b) / Gene Jackson(dr)
 7/1(水)10:00発売
 MUSIC CHARGE 前売¥6,000 当日¥6,500



11/20(金)
日野皓正
 日野皓正(ts) etc
 9/1(火)10:00発売
 MUSIC CHARGE 前売¥7,500 当日¥8,000

受付・FOOD & BAR / 18:00 開場 / 18:15
 開演 / 19:00 1st.19:00-19:45 2nd.20:15-21:00
 場所 / リビエラ東京 東京都豊島区西池袋5-9-5
 JR池袋駅 西通路C3出口から徒歩1分[立教大学前]
 ※ライブ前に楽しめるFOOD & BAR

湘南ビーチFM
046-870-3313
<http://www.beachfm.co.jp>
 ※前売オンラインチケット販売は500円お得です



※LIVE開催は、中止、変更になる場合がございますので最新情報はホームページにて、ご確認ください。

お得な年間パス 好評発売中

ライブ中の録音・撮影は禁止です

【お申込みに際しての留意点】○お席はご予約順です。○お席の指定は致しかねます。ご予約人数によってお席が前後する場合がありますことをご了承ください。○ご飲食、物販のお支払いは現金のみでお願いしております。○出演者、会場が変更になる場合もございます。○価格はすべて税・サービス料込みです。○チケット先行発売は、当日のライブにご参加のお客様に限りご利用いただけます。

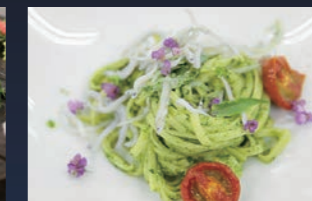
supported by



RIVIERA
**Chef's
 NIGHT
 2020**

リビエラが誇る4大シェフ、食の饗宴

「リビエラ シェフズナイト2020」は、
 リビエラを代表する4人のシェフの匠な技法と味わいを
 お客様に楽しんで欲しいという願いから実現した特別企画。
 2019年から開催し、シェフそれぞれが「旬の食材」を
 独自のスタイルでお客様におもてなし。
 昨年の反響にお応えし2020年は、毎月開催が決定。



- | | | | |
|----------|-------|--------------------------|-------------------|
| 4月17日(金) | 19:00 | リビエラ逗子マリーナ料理長 伊藤 康裕 | レストランテAO 青山にて |
| 5月28日(木) | 12:00 | レストランテAO 青山シェフ 石井 大輔 | レストランテAO 逗子マリーナにて |
| 6月5日(金) | 19:00 | リビエラ逗子マリーナ料理長 伊藤 康裕 | レストランテAO 青山にて |
| 6月26日(金) | 19:00 | レストランテAO 逗子マリーナシェフ 小川 圭祐 | レストランテAO 青山にて |
| 7月16日(木) | 19:00 | リビエラ総料理長 岡野 信司 | レストランテAO 青山にて |

お問合わせ リレストランテAO 青山 TEL.03-5411-6660
 リレストランテAO 逗子マリーナ TEL.0467-25-0480

HOME AWAY FROM HOME



MALIBU HOTEL

2020.3.26 GRAND OPENING